

京都府環境審議会廃棄物・循環型社会形成部会 議事要旨

1. 開催日時 平成28年11月11日（金曜日）午後3時から午後5時
2. 場 所 京都ガーデンパレス 祇園
3. 出席者
 - 【部会委員】 大西委員、岡田委員、奥原委員、郡嶋委員、片山委員、汐見委員、山田委員（計7名）
※上記のうち、次の委員は代理出席
岡田委員（代理：久保氏）
奥原委員（代理：窪田氏）
汐見委員（代理：吉良氏）
 - 【事務局】 山口環境部長、山田環境技術専門監、尾形循環型社会推進課長、太田循環型社会推進課不法投棄等対策担当課長、その他関係職員
 - 【報道機関】 0名
 - 【傍聴者】 0名
4. 議 題
 - (1) 報告事項
 - ①廃棄物処理実態調査の結果及び現計画の目標達成状況について
 - ②現計画に係る施策の取組状況について
 - ③市町村等ヒアリングの結果について
 - (2) 審議事項
 - ①見直し計画の施策（案）について
 - (3) 今後のスケジュール
5. 議事概要＜主な意見＞
 - (1) 報告事項
 - ①一般廃棄物処理実態調査の結果及び現計画の目標達成状況について
 - 京都府の再生利用率について、民間での集団回収量の把握に努め、実態を把握するとともに、雑紙の分別等に取り組む必要がある。
 - 市町村の施策の実態を把握し、府の関わり方、支援等を考えるべき。
 - 海洋ごみ、食品ロスも大きな議題である。
 - フードバンクについては、フードバンクが何か等、市民の意識から

取り組む必要があると思う。また、実施方法も、最適な形を検討されたい。

- ②産業廃棄物実態調査の結果及び現計画の目標達成状況について
 - 産業廃棄物の分別の高度化について、先行事例を参考にしつつ検討されたい。
 - 環境、経済、社会の統合向上について、ビジョンで示されたい。
- ③現計画に係る施策の取組状況について
 - 施策の評価指標について、再度検討すること。
- ④市町村等ヒアリングの結果について

(2) 審議事項

- ①見直し計画の施策（案）について
 - 市町村との連携がうまくいくよう、市町村の実情を踏まえて、効率的にできる方法を検討されたい。
 - 食品ロスやレジ袋などは、市町村固有の問題ではなく、広域的な問題であると考え。そのような、個々の市町村の実情を超えた、広域的な施策を府の計画で検討されたい。
 - グリーン購入ネットワークについては、他府県の状況も調査し、推進すべき。
 - 見学ツアーについては、京都市の施策との棲み分けもできており良い施策と思う。